

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

月刊

同友

DOYU 2012 May 5 Vol.550
MONTHLY COMMUNICATION MAGAZINE



40～50年前の鉋(かんな)

特集

座談会(事務局員編)

われら、同友会運動の渦の中心とならん!!

21世紀型

自立型企业づくり

現状維持は後退に等しい

福岡安全センター株式会社 代表取締役

うちやま
内山

もりた
守太氏
中央支部



よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強靱な経営体質をつくることをめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

今月の表紙



撮影：濱田 満広

坂口社長は、お父さんが建具屋さんで、お父さんから建具屋さんを引き継ぎました。その時に一緒に引き継いだのが、これら鉋(かんな)です。

今は引き継いだ会社が建設会社となっていますが、お父さんが使われていた鉋を今も大事に

保存されています。写真上の鉋が約40年前のもので、真ん中と下の鉋が約50年前のものになります。真ん中の鉋は、色もそうですが、使われている刃が他と比べて短いことから、一番使われていたことが分かります。

「私の逸品」

40～50年前の鉋(かんな)

株式会社 坂口建設産業(大牟田支部)

代表取締役 坂口 亮義(かずよし)氏

「あなたの写真で表紙を飾りませんか！」

表紙の写真を公募いたします。テーマは「私の逸品」です。詳細は、福岡県中小企業家同友会 広報情報室「月刊同友」編集部まで

締め切り…平成24年7月号は6月1日必着

投稿方法…電子メール、郵送いずれも可

表題に「みんなの広場」とご記載ください。

郵 送 先…福岡県中小企業家同友会 広報情報室「月刊同友」編集部

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号

もしくは n_ooba@fukuoka.doyu.jp まで

※応募が多数の場合は編集委員会にて選考いたします。なお、投稿いただいた作品は返却いたしませんので、ご了承ください。

特集

座談会(事務局員編)

われら同友会運動の渦の中心とならん…… 3

21世紀型 自立型企业づくり

現状維持は後退に等しい…… 6

～社員が成長する土壌をつくる～

福岡安全センター株式会社

物づくり、人づくり、地域づくり- ⑦ …… 9

新入社員合同入社式・研修 …… 10

2012年度 総会のご案内 …… 12

ようこそ同友会へ …… 14

第12回理事会報告 …… 15

Information

【社員とともにめざす企業像へ変革を】

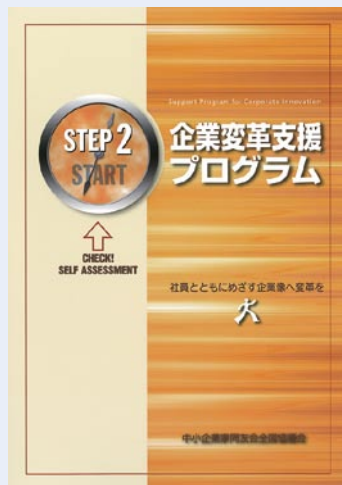
「企業変革支援プログラム STEP2」が発刊されました

定価：3,000円(お申し込みは事務局まで)

「ステップ1」では企業経営における現状の立ち位置を理解することが主目的でした。今回の「ステップ2」では「経営者としての課題」を分析し、「企業内での実践」を具体的に意識したものとなっています。使い道としては経営指針の検討場面、社内会議の場面、社内でのコミュニケーションの場などで活用していただけます。本内容は、「企業変革支援プログラムステップ1」の実施後に行えるものとなっています。

記入フォーマットは、e.doyu「企業変革支援PG」メニューよりダウンロードいただけます。

厳しい時代を乗り切れる、強じんな体質の企業となれるよう、このプログラムを活用して同友会がめざす企業づくりを進めていただくようお願いいたします。



岩手同友会の支援を通して われら、同友会運動の 渦の中心とならん!!



井上拓郎氏

旭 晋平氏



町田有三子氏 坂田いずみ氏

大庭無人氏

【出席者】

井上 拓郎氏(事務局員歴:3年)岩手支援(23年10月13日~10月26日)

大庭 無人氏(事務局員歴:9年)岩手支援(23年12月1日~12月14日)

旭 晋平氏(事務局員歴:3年)岩手支援(24年1月17日~1月27日)

坂田いずみ氏(事務局員歴:3年)岩手支援(24年2月7日~2月18日)

町田有三子氏(事務局員歴:5年)岩手支援(24年2月20日~3月1日)

【司会】

貞池 龍彦氏(月刊同友編集委員長)

貞池▼今日は事務局の方にお集まりいただきました。同友会では事務局は『会員のよきパートナー』という位置づけがされています。23年度の方針においてもそのことが明確に謳われており、5ヶ年ビジョンの中で事務局は

- 運動推進機能
- シンクタンク機能
- 活動検証機能

を持ち合わせるとしています。この度、東日本大震災の被災地・岩手同友会を支援に行かれています。そこで今回の座談会では、岩手同友会の支援に行つて感じたこと・地域とのかかわりあい・今後どのように福岡同友会に生かしていくかなどをお聞きしたい

と思います。
まず初めに、岩手に行つて感じたこと・現地で取り組んだことをそれぞれお聞かせいただけますか。

井上▼私が行ったときは平成23年11月11日の『岩手同友会20周年記念式典』前で、それに向けて会員600名を目指そうと増強に取り組んでいるときでした。震災からは半年が経過していたことです。私はその増強のお手伝いをしました。

現地に行つて感じたのは『岩手同友会は元氣だ』ということです。会員さん・事務局ともにエネルギーを感じました。それはなぜだろうと思いました。その答えは震災以前より、同友会理念が浸透しており、地域や会員さん自身に同友会の価値を理解する土台があったんだということだったんです。日頃の活動、日常だけでなく理念を落とし込んでいるかの重要性を感じました。

大庭▼私も増強の仕事をしました。岩手同友会では、震災後すぐにe・doyuを利用して沿岸部の会員さんの安否確認をしたそうですが、その

後、実際に今も仕事をしているのかどうかを調査できていなかったそうです。そこで事務局支援の話をいただいた時の話では、その調査を岩手でするよう言われていました。実際には初めの一週間は岩手同友会の菊田事務局長がほとんど事務局にいなかったのので、すでに支援に来ていた他の同友会の人と増強の仕事をしていました。翌週に菊田局長が帰ってきて皆が揃つての朝の打ち合わせが行われました。なぜ菊田さんがいなかったかという、沿岸部に向向っていたのです。そこで頑張っている会員さんの中に実は経営が危ないぞという人がいることが分かったのです。

旭▼私は増強活動と企業訪問をし、その記事を書きました。そこで感じたことは沿岸の会員さんの経営状況の厳しさが明らかになってきたことです。また菊田事務局長から聞いたことですが、沿岸部において会員さんの復興に対する考え方に違いが出てきているとのこと。特に街づくりの考え方に違いが出てきています。年配の会員さんは海の近くの元家があったところに住みたい。若い人たちは高

台に移り住むべきだと。この意見の違いが復興を遅らせるのではないかと危惧していました。

坂田▼増強と取材をメインの仕事にしてみました。私が伺った頃は、だいぶ落ち着いて事務局の中でもゆっくり話ができるようになったと言われました。赴任した翌日にさっそく沿岸部で移動理事会、気仙地区幹事会と気仙支部例会があり、会員さんの声をお聞きする機会を頂きました。そこには、つらい現実がありました。その状況の中でも、震災後1年間は「1社も潰さない」というスローガンのもと、気力だけで頑張ってきました。しかし6月から金融機関の返済が始まります。会員企業が危ないという話も出ました。倒産が出てくると、会員間に心理的影響が出てくると思われます。「命を守る」という言葉が会議の中で何度も出てきました。

町田▼私も入会のクロージングと岩手同友会のホームページ『東日本大震災と私』というコーナーの取材をしています。被災地域ではまだ復興に向けた街づくりのビジョ

ンが一致しておらず、行政もビジョンを示していません。とりあえず仕事を再開するけれども、ビジョンが示された後、さらに移転しなければならぬこともあるかもしれないとも聞きました。仮設住宅にしても、大手企業が入ってきて特需はあるものの地場の中小企業にあまり仕事が回ってこないという現状でした。

貞池▼マスコミで取り上げられている『絆』の件です。地域とともに歩む同友会として、地域との連帯についてどのように感じましたでしょうか。

井上▼もともと岩手は同友会理念が浸透しているというベースがあって、『同友会が絆そのもの』でした。同友会という絆を元に会員さんがつながっていました。震災直後にはe・doyuで安否を確認。情報を持つている人は情報を流し、会員同士の情報共有、「連帯」の精神を感じました。同友会が果たす役割、その仕組みを会員さん・事務局がよく知っていたということです。

大庭▼すぐに救援物資が全国

から届けられ、新潟同友会経由で届いたというののもつながりが強い証ですね。他県同士だけでなく、岩手同友会内でもそうです。「同友の湯（お風呂）」がいい例です。お風呂がないなら作ればいいと会員さんが工事して1日で入れるようにしていました。行動力があり、中小企業のフットワークのよさを確認しましたね。

旭▼岩手は「地域に同友会がある」と実感しました。地域に根差していますね。同友会のない地区は復興の計画も立てられず復興が遅れるという印象を受けました。陸前高田は代表理事の田村さんが中心になっているので復興が早い

と思いました。

坂田▼「顔が見える同友会」という感じがしました。被害がひどかった沿岸部に対して、内陸の盛岡は、自分たちが岩手県を元気にしていこうという気運にあふれていました。盛岡の隣の紫波町という小さな町に行きましたが、自分たちの町は自分たちが元気にするんだ、という役員さんが活発に動いておられました。商店街でのゲスト訪問では、「継がせたいんだけど、継がせられる状況ではない」という話を聞き、危機感を共有していました。また取材して分かったのですが、被災地にいち早く行った会員さんにし尿処理会社の方がおられました。避難所や自衛隊の方のトイレの汲み取りの対応を無償でしていました。こういうことはなかなか表に出てきません。

町田▼『絆』というと全国の同友会のつながり、内陸・盛岡が復興へむけて地域を引っ張っていくんだという岩手同友会の中のつながり、自社と地域のつながり。この3つがありました。現地で会員さんの話を聞いていて、震災後こ

の絆をより強く感じるようになった方が多いようでした。震災でこの会はすごいなと感じ、同友会をやめてはいけないと思った人も多いそうです。

貞池▼今回の経験を福岡同友会にどう生かしていきますか。

井上▼菊田事務局長は広報に力を入れていました。会員全員に新入会の報告や会員企業訪問記といった『岩手同友会600ニュース』を出していました。私も福岡に帰ってマネし始めました。例会については会員さんがリリースしていますので、私は条例づくりの動きや日頃の増強活動などあまり表に出ない事柄について記事にして、同友会を身近に感じていただくと思っています。増強と広報の両面で生かしていきたいと思っています。

岩手では事務局が頼りにされていると感じました。事務局員がマメに会員さんを訪問や連絡を取り合い、身近な存在となっています。『パートナー』という本当の意味を目標できました。頼りにされるためには事務局自身がまず実



事務局支援を始め、全国の中小企業家の絆を描いた資料集です
頒価1,000円

力・知識が求められます。そして一番大切なのはハートの部分です。会員さんのために何が出来るか、理念を学んでいくこと。これを念頭に置いて行動していきたいと思っています。

大庭▼岩手に行つてびっくりしたことがあります。理事会があったのですが、頑張っていた会員さんの企業が危ないという話題が出ると、議題を切り替えてそのことについて話し合いを始めたのだそうです。私と同時期に支援に行っていた東京同友会の事務局員さんが東京に戻り報告したことに、「東京は運動に寄り添う。岩手は会員に寄り添う。まさにそうでした。どちらがいかは別にしてそれくらいの覚悟があるんだなと思いました。」

私が岩手についてすぐ、くずまきワイン（葛巻産のワイン：地域を支えている）のパーティーがありました。そこで葛巻町町長さんにお会いしましたが、元会員さんで副代表理事を経験されていた方でした。第3セクターであるくずまき高原牧場で専務をされていたそうで、岩手同友会

の農業食糧生産部会を立ち上げた方なのです。岩手は農業という産業があり、同友会もそれに関する活動をしています。そういう意味では福岡の産業ってなんだろうと考えるきっかけになりました。

旭▼岩手の経営労働委員会に参加してきました。その中で経営指針を作るだけで満足して終わっているのではないかという話になりました。これまでも「労使見解」に基づいて経営指針を作成してきたはずなのに、社員と一緒にやって取り組み続けている例が少ないそうです。今後岩手では、徹底して「共に育つ」という観点から経営指針を作成して行くことと申し合わせています。福岡でも見習っていくべきことだと思いました。

車の中で菊田事務局長から聞いたのですが、危機に対応できない指針は指針ではないというんです。震災にあつて社員が地域のために何が出来るのか、生きがいを持つて働いているのか。経営者と社員ともどもよく話し合うべきだということ

です。福岡でも同じだと感じました。

坂田▼理事会等の会議では、議題はちゃんと設定されているんですが、会議の大半を近況報告にしていました。しかも、かなり詳細な部分まで徹底的に話します。こういう運営もあるんだなと思いました。経営労働委員会にも出席しましたが、震災で緊急の判断が迫られた時に、経営指針を生かせなかった会員もおられた、という話になりました。作るだけではだめで、実践の仕方が大切で、その方法にまで踏み込んで議論していました。

入会2年目で理念経営1年目の会員さんが、支部例会で経営体験を報告されました。農業にかかわる方だったので、現在の世界情勢・日本の情勢・岩手の情勢そして自社のおかれている状況を分析し、理念・方針・計画をしっかりと指針に落とし込んでいました。1年目でここまでやっていることに感心しました。この経営指針作成の運動は増強としっかりリンクされていると思います。福岡でもやらなければいけないと思いました。

町田▼岩手では事務局が会員さんをよく知っていると思います。福岡でも見習ってよき会員訪問に力を入れていかなければいけないと感じました。

貞池▼増強という話がよく出ましたが。

井上▼会員さんと2人で回りました。初めは知り合いのところを訪ねるのですが商店街などでは「飛び込み」です。福岡でもやっている支部はありますが、同友会が良い会であるという確信があるから、自信を持って飛び込むのでしょうね。

貞池▼事務局の立ち位置という点では。

坂田▼岩手は立ち位置が明確でした。事務局と役員さんが同友会運動の渦の中心になって、一般会員を巻き込むという姿勢がはっきりしていました。会議では会員さんが自由に話し合っているんですが、その中から答えが自ずと見えかけているだけじゃないんです。もともと同友会理念が

浸透していて、どんなテーマでも本質に迫っているという感じでした。そして地域を巻き込んでいるんですね。私たちもそうならなければいけません。

貞池▼最後に一言ずつ、どうぞ。

井上▼担当している中で、理念の基に行動していきたいです。

大庭▼福岡という地域について考え、地域にとつての活動になつていくかを常に考えながらいければと思います。

旭▼事務局員として会員訪問をしていきますが、会員さん同士ももっと知りあつてほしいと思います。

坂田▼地域経済を支えていくような存在になりたいと思います。

町田▼支援を継続的なものにしていかなければならないと思います。また今回の経験を今後の活動にどう活かしていくかが重要だと思います。

現状維持は後退に等しい

社員が成長する土壌をつくる

緊急通報システムを軸に積極的に事業を展開する福岡安全センター株式会社。社長の熱い思いに迫りました。

会社設立

今回の取材先、福岡安全センター株式会社の社長・内山守太さんは、もともと民族系石油採掘会社に勤務していましたが、硬直的な会社の体質に見切りをつけ平成元年12月に会社を設立。翌年1月に名古屋在住の知人から「緊急通報システムを自治体から請け負っている『安全センター』という会社が名古屋で受信セン

ターをやってほしいという話があるから、その会社の話聞いてきてほしい」と依頼され、内山さんが代理で訪問し安全センターの社長にヒヤリングをしました。そして「5年間赤字覚悟でじっくり取り組めるかどうか、この事業の成否の分かれ目である」という報告をしました。しかし、当の名古屋の知人は別の事業に投資したので受信センターの話はお断りしました。後日、さきの安全センター

の社長から内山さんに、その事業の営業開発担当として一緒に取り組んでほしいと白羽の矢がたったのです。内山さんは考えた挙句、条件付きで取り組むことにしました。やがて内山さんが住んでいる千葉県西北部エリアと出身地である佐賀県と福岡県における営業開発業務をスタートさせました。平成2年6月のことです。その後、営業努力が実り、唐津市を始め福岡市及び福岡都市圏の市町村から業務委託契約を取り付け、それを機に福岡に拠点を構えて本腰を入れることになり、平成6年4月、福岡安全センター株式会社を設立したのでした。

福岡安全センター株式会社

代表取締役

うちやま

もりた

内山 守太氏

中央支部

■取材 広報情報室
文章／菅原 弘

▼corporate data

福岡安全センター株式会社
創業／1994年4月
資本金／1千万円
売上高／3億5千1百万円
住所／福岡市中央区天神3-11-1
天神武藤ビル5F
TEL 092-711-7795
従業員数／社員：26名
パート：44名
<http://www.f-anzen.com>



業務内容

「緊急通報システムとは、いわば一人暮らしの高齢者の安心・安全のシステムです」と内山さん。利用者にはケアコール端末と呼ばれる通報装置が支給されます。それには大きく『緊急』とそれより小さめに『相談』のボタンがあり、ワンタッチで安全センターのオペレーションセンターにつながります。マイクとスピーカーが一体となっているのでハンズフリーで会話ができます。離れている場合



緊急通報システムの機器



は首に掛けたペンダントでも通報ができ、静かであれば10〜15mほど離れても会話できます。緊急通報が入ると、受信センターでは同時に3人が対応します。一人は利用者と会話をしながら過去の情報を確認し激励します。一人は親族や近隣の協力者への連絡、もう一人は消防局への救急車要請になります。オペレーターは保健師・看護師・介護士・ヘルパーなどさまざまな資格を所有したスタッフがあります。消防局への救急車要請の最終判断は看護師が行います。消防局への救急車要請は必要ないと判断したものの様子を見たほうがよい場合は、あらかじめ登録された協力員さんが駆けつけます。福岡市内では介護タクシーに状

況確認を依頼する場合もあるそうです。「この判断は受信してから1分以内で行われます。この1分間が大事ななんです。救える命を手遅れにしない、これが私たちの使命です」と内山さんは力強く語ります。さらに『声の訪問』と称して、毎月1回以上定期的に電話で連絡を行い、健康状態や通院している病院の変更がないかなど利用者の最新の情報を収集しています。

緊急通報では誤報が多いのも特徴です。以前のシステムでは協力員2名と消防局に直接連絡が入る体制であったことから、誤報により三者が駆けつけたことで利用者や家族が驚いてしまい、必要な時でも通報しないということがありました。この『声の訪問』の際に、困ったときはいつでも押しただくように伝え、また頻繁に試し押しの練習をしてもらうよう促しています。こうした実績を積み重ねて利用者と消防局からの信頼関係を構築しています。

緊急通報システム・声の訪

問に加えて、福岡市内では夜間対応型訪問介護サービスにも本格的に取り組んでいます。「まだ開始して2年です。この事業はまだ採算ベースに乗っていませんが、これらの事業の3本柱によって、緊急通報システムが利用者にとってより強固な安心・安全を提供できると確信しています」。

にこにこステップ運動

平成16年秋に福岡大学で開催された産学官連携センターでの研究発表で、内山さんのマラソン仲間が福岡大学スポーツ科学部田中宏暁教授による「にこにこステップ運動」を知りました。これはニコニコペース、すなわち無理のないスピードで踏み台の昇降運動を1日最低30分行うことにより、3ヶ月で大学生並みの足腰に強化できるというもの

です。この内容を聞いたときに内山さんは自社の事業の柱になると直感し、即座にこの「にこにこステップ運動」の普及啓蒙の窓口になることを申し出ました。研究室の学生も社員として採用し平成17年から取り組みを始めました。久留米市介護予防普及・啓発事業「にこにこステップ運動」(久留米市・特定非営利活動法人シニアネット久留米・福岡安全センターの三者協働事業)が、取り組み開始から5年間で開催した教室551回、参加者は7,318人となり、この度、福岡県の平成23年度ふくおか共助社会づくり表彰の「協働部門賞」を受賞しました。久留米市に続いて、さらに朝倉市・唐津市・嘉麻市・那珂川町などでも健康づくり運動で採用されています。

また、昨年10月、デイサービスのカリキュラムに「にこにこステップ運動」を取り入れて、デイサービスや簡易型フィットネスクラブを全国展開したいという企業が現れました。そこで「にこにこステップ運動」の窓口である福岡安全センターは、福岡大学のそばに直営のパイロット店



にここステップ運動



にここセンター城南

を設置することを決断しました。今年に入ってから開設準備に取り掛かり、4月に城南区神松寺一丁目に「デイサービス」にここに「センター城南」をオープンしました。デイサービスのカリキュラムとしては、まず参加者の負荷テストと心音測定をしてその人に適度な運動強度を設定します。にここに「ステップ運動」、スロージョギングと自転車エルゴメーターをミックスして運動していただき、にここに「ステップ運動のブランド確立」を目指していきます。

今回のデイサービスへの進出は、クライアントの全国展開・福岡大学の研究用データの蓄積・地域の利用者の健康増進と、まさに福岡大学スポーツ科学部が開発した「にここステップ運動」を取り入れた、産学連携のモデル事業となる取り組みです。

なぜこんなに事業を展開するの

内山さんはなぜこんなに事業を次から次へと展開するのかと聞いたところ、それに対する内山さんの答えはこうです。「現状維持は後退に等しい。常に社員の待遇改善のためには利益を上げ、事業を拡大していかなければなりません。それで社員と企業の安定成長が見込めるようになると思います。しかし、それは本業に関連する本業の周辺事業でなければなりません」。会社を設立して3年目、一

番経営が苦しかったときに、あるコンサルタントの先生に現状を話したところ、先生は『3年目で苦しい・・・!』

それは良い経営をしている証しです。自然の摂理のたとえば『桃栗3年柿8年』と言うじゃないか。経営も自然の摂理と一緒だよ。早すぎる成長はやがて破たんが来る。経営は『やり繰り3年勝ち8年だよ』。この一言で目から鱗が落ちたと言います。じつくり腰を据えて新規事業に取り組む心構えとして、最低3年はやり繰りするとの覚悟ができました。

常に考える

福岡安全センターの社内にはいたるところに『常に考える』という文字が掲示されています。同友会のある会員さんの企業を見学した際に、その会社のいたるところに掲示してあった『常に考える』を模倣し、社内提案制度を取り入れました。提案するだけで500円、内容によりさらに

賞金が出るというものです。「活性化はこれからですね」と内山さん。

市場から同社が支持される理由として、社員が常に誠実に利用者に接していることを挙げています。利用者から「ありがとう」と感謝される『ありがとう』のエネルギーが社員の意識を高めていると思います。今後モチベーションを上げるための仕組みづくりを考えていきたいですね。

自立型企業とは

取材の最後に内山さんが考える『自立型企業』についてお聞きしました。「社員が自分たちの給料を自分たちで稼ぐという土壌をつくっている会社だと思っています。社員には常々、昨日よりは今日、今日よりは明日、明日より明後日と、自分自身が少しずつでも進歩している事を実感できるようにしてくださいと言っていきます。その一人一人の小さな歩みが会社全体を進歩させていくと思います」。

取材協力ありがとうございました。

【編集後記】

内山さんは大学時代に男声合唱団に所属し、現在でも月に3回東京で活動しています。

東日本大震災の被災地では、縁あって昨年9月に宮城県石巻市内の3箇所、30人のメンバーで「ふんばろう!石巻コンサート」を行いました。多くの人が涙を流しながら聞いてくれました。中には地元民謡の斎太郎節の合唱に合わせて踊ってよろこびを表してくださった方もいました。

今年も7月に石巻市と女川町の3箇所「ふんばろう!石巻・女川コンサート」を予定しています。復興が実感できるまで継続していかなければなりません。福岡県中小企業家同友会の被災地支援CD「スマイル・アゲイン」の合唱団の一員でもあります。「今後も歌の力で支援していきたいですね」と語る内山さんです。

健康と笑顔を食卓に

経営指針でイノベーション

創業95年の老舗味噌屋の新品が今、東急ハンズ博多店3階「九州の食卓コーナー」で話題となっています。「試食した人は必ず購入する」と評判のディップみそ開発のきっかけは、経営指針作成セミナーへの参加だったそうです。理念を見直し、夫婦二人三脚で練り込んだ方針の一つが、食卓を笑顔にする新商品開発でした。その後「調味料ジュニアマイスター」である安藤さんは、伝統ある味噌を現代の食文化に合わせた味にするた



蛭子屋合名会社

後継者 安藤 久代氏 嘉飯支部
あんどう ひさよ

め、味噌と相性の合う食材を探しに探して試行錯誤の末、商品化に成功したのです。

新しい食卓の提案

「新みそスタイル」

味噌の新しい食べ方提案として、「みそやのキッチン」ブランドを積極的に展開中。何度もテレビ取材された「ディップみそ」は、コクトマト・カレー・チーズ・トリゴボウ・ゴマアオサの4味あり、ご飯はもちろんクラッカーにトッピングしたり、パンや野菜スティックに塗ったり、溶かしてスープやパスタソースにすることもできます。液状タイプの「かけみそ」は、スタミナガリック・アオウメの2味あり、サラダのドレッシング、鍋や焼肉のたれ、隠し味調味料としても使用されています。まさに「健康と笑顔を食卓に」お届けする理念商品の誕生です。和食に限らず、いろいろな食事の場

面での「味噌を楽しむ生活提案」ができるようになりました。

商品は「素敵な食空間の演出」

「エビスみそは、伝統ある味噌づくりをしています。売っているのは素敵な食空間です。」と安藤さん。その証拠に「みそやのキッチン」開発と同時にロゴも一新し、デザイン性の高いガラス瓶に詰められた商品は食卓テーブルを飾るおしゃれアイテムといっても過言ではありません。新商品開発の次の戦略も素敵な食空



miso ya no kitchen

corporate data

エビス味噌 醸造元
蛭子屋 合名会社

福岡県飯塚市口原746
☎0949(62)1134

商品は左記店舗で買い求め頂けます。

- 東急ハンズ博多店3階
- 博多大丸地下2階
- 小倉井筒屋コレット5階
- エビスみそ本店ショップ

<http://www.sutanhamiso.com/>

写真提供：蛭子屋合名会社

取材：広報情報室 赤松 勝治

間創り。本店での「お味噌汁カフェ」開設を計画中だそうです。飯塚新名物として、笑顔溢れるあたたかい食空間が出現する日は近いかもしれません。経営指針を片手に、老舗蛭子屋のイノベーションはまだ続くことでしょう。

2011年度
福岡県産業デザイン賞
入賞

2011年度
(財)やまぎん地域企業助
成基金 受賞

2012年1月
経営革新計画 承認

2012年度 新入社員合同入社式

主催：福岡県中小企業家同友会



福岡県中小企業家同友会

同友会 3つの目的
1つ、よい会社をつくる
同友会は、ひたすら社員と経営者とを交流して、企業
の健全な成長と発展に努めることをめざします。
1つ、よい経営者になる
同友会は、中小企業家が自立的な能力によって、結果
に責任を負い、問題を克服し、これからの経営者に適
当な責任と権限を委ねることをめざします。
1つ、よい経営環境をつくる
同友会は、他の中小企業団体とも連携して、中小企業
をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企
業の発展を支援することをめざします。

記念講演
「一度きりの人生、悔いなく生きる為に」
講師 株式会社 シティライオン 代表取締役 田浦通氏



記念講演をする田浦通氏

求人共育委員会 新入社員合同入社式・研修

新社会人が力強く

第一歩を踏み出しました

新入社員合同入社式

福岡同友会では4月2日に毎年恒例の合同入社式を開催しました。1979年から続くこの入社式は、マスコミからの取材も多く、当日の夕方にはテレビのニュース番組に取り上げられることも多くあります。

中小企業に入社する社員数は、企業によりますが決して多くありません。そのためか、横の繋がりがなく、相談する相手があまりいないことが多いようです。合同入社式の狙いは、合同研修と併せて同期入社としての仲間意識を持たせることにあります。会社の

枠を越えての同期ができることで、安心感や仕事に対する意欲につながります。また、これからの人生の指針になるような祝辞や記念講演を通して社会人として働くという意識付けをします。

今年の入社式にも地元企業の将来を担う新入社員の方々が緊張した面持ちで参加しました。参加企業を代表して、ASAP動物病院の山口明子副院長から新入社員への辞令交付が行われ、「先輩社員からのメッセージ」「新入社員の社会人宣言」をそれぞれ3名ずつ力強く話してもらいました。記念講演では田浦通氏（株式会社シティライ

ン・代表取締役／福岡同友会代表理事）より「一度きりの人生、悔いなく生きる為に」というテーマで、田浦氏自身の経験談をもとに語られた熱いメッセージに、新入社員の皆さんも熱心に聞き入っていました。

今年は、36社78名の新入社員が社会人としての第一歩を踏み出しました。

新卒採用は、単なる人採りではなく企業づくりそのものです。新卒採用活動が続けることは、経営者と社員が共に育つ社風を創り上げ、「労使見解」実践の基礎となるのです。

新入社員研修

入社式に引き続き、4月5日(木)～6日(金)にはクロイバープラザ(春日市)にて一泊二日の新入社員研修が開催されました。今年は、22社50名の新入社員が参加し、多くの同期の仲間と学び合いました。

研修では、最初にこの研修における各個人の目標設定から始まり、実践的なビジネスマナー研修や先輩社員からのエール、「働くこと、仕事とは」についての講義などがありました。また、一日目夜には「なぜ働くのか」についてグループ討論を行い、この深いテーマについて各々の考えや想いを語り、途中経営者も入りながら何度も何度もディスカッションしてもらいました。これからの社会人人生の中で役立つであろう貴重な経験となったようです。

研修会の最後には、経営者からの激励文授与、新入社員による決意表明発表を行い終了しました。



受講生の声

●正直に言うとてもきつかったです。(与えられたテーマについて)これだけ考え続けた事はなかったですし、一人ではなく7人の仲間とチームとして考えをまとめたり、共有することは、貴重な経験になりました。

●何十人という同期を持つことが出来て心強かったです。「働くこと」に関して、今まで話し合う機会などなかったため、色々な考え方を知ることができました。

●この2日間で「働くこと」についてグループで考え、たくさん話すことが出来ました。また、まだ学生気分が抜け切れていなかったのですが、この研修を通して、意識を切り替えられたと思います。

●これまで学生として生きてきた人生はとてもぬるいものだったと痛感させられました。これから社会人として生きていく中で、この研修で得られたものや、学べたものは自分の糧となり、支えとなることだと想います。

●得るものがたくさんあった2日間でした。また、沢山の同期に会えて、色々な考え方に触れる事が出来て、とても刺激を受けた時間を過ごす事が出来ました。



県南地区総会

5月15日火 17:00～

■会場／うきは市総合福祉センター うきは市吉井町 347-1 ☎0943-75-5900

りょうちく支部総会

5月15日火 18:30～

■会場／うきは市総合福祉センター

久留米支部総会

5月16日水 18:30～

■会場／萃香園ホテル 久留米市櫛原町 87 ☎0942-35-5351

有明支部総会

5月17日木 19:00～

■会場／ランヴィエール勝島 柳川市南長柄町 22 ☎0944-73-9181

大牟田支部総会

5月22日火 18:00～

■会場／だいふく会議室 大牟田市有明町 2-1-3 ☎0944-53-3333

筑豊地区総会

5月18日金 17:00～

■会場／パドドウ・ル・コトブキ 飯塚市片島 1-7-62 ☎0948-22-5138

筑豊支部総会

5月18日金 18:00～

■会場／パドドウ・ル・コトブキ

嘉飯支部総会

5月18日金 18:00～

■会場／パドドウ・ル・コトブキ

19日 9:30～18:00

経営指針作成「あすなろ塾」
オープンセミナー

■福岡県中小企業振興センター 401 会議室

福岡市博多区吉塚本町 9-15 福岡県中小企業振興センター

『あすなろ塾』は同友会における経営指針の基礎知識を学習する1日セミナーです。当日は、経営指針の全体像を理解し、経営理念の作成を目標に参加して頂きます。また、今回はオープンセミナーとし会員のみなならず会外の方も受講できるよう開催致します。

■会費:2,000円(会員)、3,500円(会外)

22日 18:30～21:00

企業連携推進委員会
FAST5月例会

情熱家たちの連携による地域おこし

～廃校を利用した全国初の株式会社立 高校～

■福岡県中小企業振興センター 302 会議室

福岡市博多区吉塚本町 9-15 福岡県中小企業振興センター

■日野 公三氏 株式会社アットマーク・ラーニング 代表取締役

5月例会はNewsweek日本版で「日本を救う中小企業100」に選ばれた(株)アットマーク・ラーニング 代表取締役 日野公三氏の登壇です。明達館高校は、田川市川崎町で廃校となっていた旧安宅小学校を活用した広域通信制高校。インターネットをフル活用し、発達障害児や不登校児はもちろん、海外で暮らす子ども、世界で活躍するアスリートたちなどにも学びの機会を与えています。日野氏には教育に対する熱い思いと社会企業家としての成功の秘訣を存分に語っていただきます。さらに、開校に尽力された杉本氏(嘉飯支部)、古賀氏にも人や企業の連携のお話をいただき、いっそう学びを深めていきます。

中小企業憲章制定 2周年記念行事 6月16日土 14:00～17:30

■都久志会館 福岡市中央区天神 4-8-10
☎092-741-3335

映画『ふるさとがえり』上映と
パネルディスカッション

この映画は、地域社会の課題を浮き彫りにし、地域をもっと考えなければと呼びかけます。第1部で映画を見た後、第2部でのパネルディスカッションでこの映画の狙いを共有し、中小企業の役割を考えます。そして、地域での中小企業の認識を高め、「中小企業憲章」「中小企業振興基本条例」の意義を訴えます。

■第1部 映画「ふるさとがえり」上映(2時間15分)

■第2部 パネルディスカッション「地域と共に生きる中小企業」

パネラー (予定者)

林 弘樹氏(「ふるさとがえり」製作の映画監督)

松田 一也氏(九州経済産業局 地域経済課長)

時枝 寛氏(株式会社コムプラ 代表取締役)

コーディネーター…村山 由香里氏(株式会社アヴァンティ 顧問)

■参加費:1,000円(前売りチケット制)

2012年度 総会のご案内

お知り合いの方を誘って、
是非ご参加下さい

福岡地区総会

5月15日火 15:30～17:20

■会場／福岡県中小企業振興センター 2F 大ホール
福岡市博多区吉塚本町 9-15

東支部総会

5月15日火 18:00～

■会場／福岡県中小企業振興センター 202 会議室

福博支部総会

5月15日火 18:00～

■会場／福岡県中小企業振興センター 403 会議室

博多支部総会

5月15日火 18:00～

■会場／福岡県中小企業振興センター 302 会議室

中央支部総会

5月15日火 18:00～

■会場／福岡県中小企業振興センター 301・B 会議室

西支部総会

5月15日火 18:00～

■会場／福岡県中小企業振興センター 401・A 会議室

南支部総会

5月15日火 18:00～

■会場／福岡県中小企業振興センター 401・B 会議室

筑紫支部総会

5月15日火 18:30～

■会場／大 観 荘 筑紫野市湯町 1-1 2-1 ☎ 092-922-3236

福友支部総会

5月15日火 18:00～

■会場／福岡県中小企業振興センター 501 会議室

青年支部総会

5月15日火 18:00～

■会場／福岡県中小企業振興センター 303 会議室

玄海支部総会

5月15日火 18:00～

■会場／福岡県中小企業振興センター 301・A 会議室

かすや支部総会

5月15日火 18:00～

■会場／福岡県中小企業家同友会全体会議室

北九州地区総会

5月17日木 17:00～18:10

■会場／リーガロイヤルホテル小倉
北九州市小倉北区浅野 2-14-2 ☎ 093-531-1121

北九州支部総会

5月17日木 18:20～

■会場／リーガロイヤルホテル小倉

ひびき支部総会

5月17日木 18:20～

■会場／リーガロイヤルホテル小倉

ようこそ同友会へ

welcome
Fresh our partners

新入会員
ご紹介



株式会社エフ・エフ・ビー

貸しホール（各種展示会、講演会、会議、パーティー等）
とレストラン、不動産賃貸

福岡市博多区博多駅前 2-10-19
TEL 092-431-7531
<http://www.ftb.jp>

後継者 ほんだ よしひろ
本田 義博 [福友支部]

博多駅前で福岡ファッションビルを経営しております。昨年12月に入会してからまだ日が浅いですが、多くの同世代の経営者、後継者の方々に巡り会え、非常に心強いと思います。

今はまだ現社長の下で勉強中ですが、同友会での学び、出会いを経営に生かしていきたいと思っております。



ワイズ・サポート

経営戦略の立案・シックスシグマによる業務改善等・クレド導入支援・人財教育全般他

鳥栖市弥生が丘 5-236
ビューハイムⅡ B102
TEL 090-5527-5083

中小企業診断士 くどう よしつな
工藤 芳純 [福博支部]

同友会に入会したきっかけは、昨年10月に国際交流委員会主催のシンガポール視察に参加したこと。現在は、国際交流委員会やFAST、またそこから派生した九州の食、福岡リーダーズ倶楽部等に参加させて頂き、多くの学び・様々な方との交流をさせて頂いております。今後とも宜しくお願い致します。



有限会社 タイム

パソコン用業務アプリケーションの開発・販売

福岡市博多区博多駅前 4-33-11-715
TEL 092-434-3233
<http://www.timsoft.co.jp>

代表取締役 むらもと としかず
村本 俊和 [南支部]

有限会社タイムの村本俊和です。学生時代にパソコンと出会い24歳で起業し、来年で30周年を迎えます。

同友会の皆様が、忌憚のないご意見を交換し合っている会合を拝見し、私も経営者としての勉強をしなければいけないと心を打たれました。まだまだ、経営者として初心者ですが、皆様とともに勉強していきたいと思っております。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



株式会社 さとう建設

注文住宅・規格住宅の設計及び施工をはじめ、各種施設・ビル・公共建築工事など

筑紫野市大字原 187-3
TEL 092-925-0127
<http://www.e-satou.com>

専務取締役 さとう かつのり
佐藤 勝則 [筑紫支部]

さとう建設に後継者として就業し2年が過ぎた昨春秋、経営者フォーラムへ参加。分科会のグループ討論で「私の学びの場はココだ」と強く感じ入会を決めました。

今は経営指針の作成を進めています。来期(6月)からは指針に沿った企業運営を行いたいです。今後も同友会の学びと交流を活かし魅力ある企業を目指し邁進します。

2011年度 第12回理事会報告

■日時: 2012年4月18日(水) 15:00~18:30

■会場: 福岡県中小企業家同友会会議室

■出席: 28名(欠席委任6名) 出席率: 82%

■議長: 林田副代表理事

□開会あいさつ(中村代表理事)

春爛漫の季節になりました。この間福岡同友会では、3月13日の福岡地区チャレンジフェスタ2012、4月1日青年支部のフレンドシップフェスティバル、4月2日の合同入社式(36社78名、付添48名)、新入社員合同研修24社50名と活発な活動が行われました。活動の内容や全国の動きは月刊同友や中小企業家しんぶんで紹介されます。ぜひ読んでいただき、会員のみなさんにも読むように進めてください。7月の全国総会の議案は6月5日号の中小企業家しんぶんで発表されます。とりわけ第2章の中小企業をとりまく情勢は経営者必読の内容です。理事が率先して読んでいただくことをお願いします。

■報告事項

1. 前回理事会以降の活動

- ①第80回景況調査(2012年1月~3月)結果と会員企業の状況(石蔵政策金融室長)
「足踏み状態! 一方、春の息吹も!」と分析。議長コメントでは、「景況は春の息吹も感じられますが、企業変革支援プログラムステップⅠを使い自社の現状を分析し、さらにステップⅡで経営課題克服に向けた具体的方策を導き出しましょう!」とした。
- ②福岡同友会の活動(事務局長)
1ヶ月間の活動の報告、活動への会員の参加延704名(35%)、ゲスト61名。
- ③新聞・テレビ等報道等(事務局長)
1ヶ月間の会員企業新聞報道等の記事を報告。

2. 対外的対応

- ①あすばる男女共同参画フォーラム2012企画委員推薦(事務局長)
2010年度より、同フォーラムに実行委員を推薦してきた。2012年度も、松永幸子さんを推薦したと報告。
- ②その他行政および他機関よりの要請(事務局長)
・「地元企業と大学等との就職情報交換会(仮称)」のご案内
・福岡県70歳現役社会推進大会のご案内
・福岡県弁護士会「無料相談会」のご案内

3. 本部・室・委員会より報告および提起

- ①求人共育委員会(時枝委員長)
マナーブック改訂版完成の報告、合同入社式・新入社員研修会開催報告。
- ②経営指針推進委員会(林田委員長)
あすなろ塾オープン講座の案内、企業変革支援プログラムステップⅡ(3,000円)の紹介
- ③同友あすばる特別委員会(白石委員長)
事業継承塾(仮)の企画内容の報告

4. 地区活動報告と提起

- ①福岡地区(中野会長)
・チャレンジフェスタ2012のまとめ報告、アンケート結果
・2012年5月糸島準備会発足の報告、2013年5月50名で支部設立予定。
- ②各地区総会・支部総会(事務局長)
各地区総会、支部総会の日程、会場の報告。

5. 事務局関係報告

- 4月30日で定年を迎える、谷村次長が継続雇用になった、と報告。

■協議事項

1. 第50回定期総会準備

- ①議案発信のスケジュールと意見集約について(林田議長)
総会議案書の会員への発信スケジュールと質問、意見の集約と回答打合せの流れを報告。
4月10日:e.doyu文書管理に議案アップ
4月13日:議案書(冊子)全会員へ発送
4月19日:事前質問、意見〆切
4月20日:臨時正副代表理事会(総務財政室長、役員選考委員長、議長参加)
- ②当日の流れと役割分担(林田議長)
進行表にもとづき、当日の流れと担当を確認。
- ③総会表彰の確認(事務局長)
・永年会員(30年4名、20年43名)、会員増強(支部・個人)を確認。
会員増強支部表彰のうち、増加率については対

象なしとした。

・物故者への黙祷対象者を確認。

- ④参加状況(会員・来賓)と参加促進(事務局長・古北九州地区副会長)
・現在の会員の参加状況を報告。事務局より、回答がない会員に対してFAXで呼びかけ、欠席の場合は委任状提出を依頼。またSMILE AGAINの合唱に参加した会員と福島全研に参加した会員に参加呼びかけをしていると報告。さらに地区でも促進してほしいと要請。
・来賓の出席状況を確認。回答がないところには事務局より確認する。
- ⑤総会での国旗の掲揚について
継続して協議してきた事項であることを確認し協議を行った結果、賛成、反対に大きく意見がわかれた。この問題は協議しても意見がわかれ一つになりにくいことと、会員間の連帯に支障をきたすおそれがあるとして、今後この問題は取り上げない事とした。

2. 50周年記念事業について

- ①CD「SMILE AGAIN」普及状況(中野副実行委員長・事務局長)
4月17日現在の募金口数、金額およびCDの残枚数が報告された。また、関連した動きとして、次の点が報告された。
・4月10日「さいたまアリーナで「さだまさし・パネーデコンサート」
ゲスト歌手19人もふくめて、15000人の来場者全員でフィナーレで「SMILE AGAIN」大合唱
・4月23日 福岡県70歳現役社会推進大会
講師 加山雄三(さだまさしコンサートのゲスト) ロビーでPR
・6月発売のさだまさしNewアルバムに収録(解説付)
・5月8日 CD推進実行委員会
- ②映画「ふるさとがえり」とパネルディスカッションの企画(中山実行委員長)
・「考えてみませんか! 地域に根ざす中小企業の役割を!」とする
・パネラーが、林監督、松田九州経済産業局地域経済課長、時枝同友会共同求人委員長、コーディネーター村山副代表理事とし、開会および閉会を山中小企業憲章推進本部長がしっかりとまとめる。
・福岡同友会主催・中協九州沖縄ブロック共催、福岡県中小企業団体中央会・九州経済産業局後援となった
・4月25日の総会にてチラシ配布開始、5月の地区総会、支部総会でチケット販売開始。
- ③第43回全研(福岡)実行体制(樋口実行委員長)
資料に基き、実行体制案として提案され、確認された。
・メインテーマについて、小規模企業や自営業にも共感できるようなテーマと内容にしたいという意見がだされた。

3. 会員増強のとりくみ(田浦代表理事)

- ①4月1日現在の会員数 2003名
- ②理事会目標(34名)の達成状況
・4月2日以降のチーム別とりくみで15名の成果。中村リーダー、有馬リーダーのチームが達成した事と全チームで成果があった。
・昨年9月以降の理事増強で30名に到達。新年度に向けても理事がリーダーシップを発揮する事を確認。
・6月4日(月)新年度増強決起集会を開催
- ③会員満足度調査アンケート
会員定着が増強の大きなカギとして、アンケート調査を行い、分析して6月4日の総決起研修会を準備する事を報告。
- ④新会員フォローアップ部(笠置副本部長)
・新会員の日は新会員やフォローアップ部会メンバーなどの対象者だけでなく福岡同友会全体のものとして徹底していく。
・新会員さんが100%参加の参加にあるように地区、支部で促進する。
ことなどの報告があり、今後の検討課題が提起された。

4. 中協・九州沖縄ブロックの活動

- ①第6回九州沖縄ブロック「支部長・支部活動研修交流会」(5月24日~25日/大分・別府)
地区より参加促進をしてほしいと要請。全支部からの参加をめざし、30名目標とする。
- ②第15回女性経営者全国交流会(6月21日~22日/沖縄)
第6分科会「社員ひとりひとりが生き生きと働くために保育の現場から考えるワークライフバランス」
報告者: 藤藤 光枝氏 (座長 村山由香里氏)
女性経営者に限らず、多くの参加を要請。
- ③第18回中同協役員研修会(5月30日~31日/宮城)
参加呼びかけを要請。

■審議事項

1. 運動方針案の一部修正(中山代表理事)

- ・議案書11ページの活動の検証項目のデータの資料を追加(総会当日資料)
- ・議案書16ページに(2011年10月~12月)
- ・議案書21ページ、前回理事会で提案していた「経営改善10%」運動の項目を削除。
- ・議案書25ページ、創立50周年記念事業の⑦その他決定次第を削除
以上一括承認。

2. 2011年度決算および2012年度予算最終案(長井総務財政室長・中山代表理事)

- ①2011年度決算報告を承認。
- ②2012年度予算最終案を承認。

3. 2012年度理事会の構成(支部長を理事とする件)について(中村代表理事)

- 「支部長の理事会参加について(案)」に基づき協議の上、承認した。
- 意見として、
・理事会と地区幹事会の役割、機能を明確にしていなければならない。
・概要案の中で、地区幹事会の「支部予算の割り振り」の見直しと支部役員会機能に「未収金の回収」をいれる必要がある。
・新年度理事会(支部長を含む)中で、継続して協議していくことを確認。

4. 県本部・室・委員会の構成について(事務局長)

- ・資料に基き、2012年度の構成案を提案、承認。

5. 除籍について

- ①除籍申請審議(長井総務財政室長)
4名の除籍を申請
- ②刑事事件を起こした会員の会員資格取り扱いについて(中山代表理事)
規定を変更するのではなく、適用をどの方向で考えるかの提起があり、継続審議事項として総務財政室で検討して提案することとした。

6. 希望者全員65歳確保達成事業への参加について(事務局長)

- ・2010年~2011年度「70歳まではたらける企業創出事業」の経過の中で、2012年度「希望者全員65歳雇用確保達成事業」を受託する事を承認。
- ・2010年度「70歳まで働ける企業創出事業」の収支報告を確認。
- ・2011年度「新卒者就職応援プログラム」収支報告を確認。

■報告事項

1. 会員企業のうごき(事務局長)

- ①経営革新計画承認企業 会員企業4社、累計303社
- ②表彰 平成23年度ふくおか共助社会づくりにおいて、福岡安全センター(株)(内山 守太さん)が、3団体連携のとりくみを評価され、県知事より表彰。

□閉会あいさつ(田浦代表理事)

「職場は将の影」という言葉があるが、リーダーの役割は大きいと思います。会員増強は達成できなかった点は率直に反省し、新年度に向かいましょう。



あなたの住まいがみちがえる
住宅 塗り替え専門店

当社の考える「職人力」とは、知識・経験を活かした技術力とお役立ちの心をもった人間力です。工事のご依頼を頂いた全てのお客様から「ありがとう」を頂く為に、お気遣いのできるスーパー職人集団をめざします。

有限会社宮野建装
代表取締役 **宮野 甲介**
〒807-0815 北九州市八幡西区本城東1丁目11-27
TEL: 093-692-5545 FAX: 093-692-5551
URL: <http://www.miyanokensou.co.jp/>
e-mail: miyano@miyanokensou.co.jp

賃貸住宅のリフォーム・メンテナンスの事ならお任せ下さい

Fine

有限会社ファイン
代表取締役 **市丸 皓士**
〒807-0815 北九州市八幡西区本城東1丁目11-27
TEL: 093-692-2671 FAX: 093-692-5741
URL: <http://www.tss-ne.jp/>
e-mail: fine@tss-ne.jp

賃貸住宅の退去後の復旧工事や、家の小さな修理から大がかりな増改築まで低料金で実施いたします。特にちょっとした小さな修理でわざわざ業者に来てもらうのも…という方、ぜひお気軽にお申し付けください。

整備させたインフラで共に「満室経営」しませんか?

個人経営のオーナー様、管理会社に任せっぱなしではありませんか? ぜひ、弊社のシステムをご利用ください。ダイレクトでタイムリーな情報収集や、低コストの内装補修システムを活用して、高効率アパ・マン経営を実現できます。

西日本金属検査株式会社
専務取締役 **岸野 薫**
〒807-0821 北九州市八幡西区陣ノ原4丁目18-3
TEL: 093-691-0610 FAX: 093-602-0893
URL: <http://www.nic-inc.net/>
e-mail: k.kishino@nic-inc.net

●非破壊検査 ●土木・防水
●外壁改修・塗装 ●不動産管理・仲介

わが家の節電と、地球環境のために。太陽光発電をおすすめします。

多数メーカーの中から、お客様宅の屋根の材質や向きにあわせ、中立の立場から最適な商品、プランをご提案いたします。まずはお気軽にお問合せください。

有限会社 野川住建 Tel 093-651-5881 Fax 093-651-5825
北九州市八幡東区東山1丁目6-29 <http://www.nogawajuken.co.jp>

健康から始まる明日をご一緒に

私たちは活性酸素の害から身を守るSODを補うための「SOD様作用食品 ニフ・ライフ」をはじめ、様々な商品を通して、皆様に健康で明るい生活をお届けいたします。健康相談もお気軽にお問い合わせください。

ネオビス
代表取締役 **川俣 保美**
〒807-0815 北九州市八幡西区本城東4丁目5-22
TEL: 093-603-1123 FAX: 093-692-5741
URL: <http://www.neobis.co.jp>
e-mail: neobis@neobis.co.jp

LED蛍光灯システム エコスターライト
ECO STAR LIGHT

LEDでの電力削減による省エネ、CO2削減によるエコロジー。そしてさらに、効率・力率まで考慮した次世代照明があります。

LED お見積りから取り付けまでお気軽に
エコーテクノシステム株式会社
〒807-0806 北九州市八幡西区御開三丁目29番7号
TEL: 093-692-2776(代) FAX: 093-692-2763
<http://echo-techno.jp> mail:kazumi@echo-techno.jp

曲げ加工の「未来」を創造する会社です

営業内容
・金属(鉄・ステンレス・銅・アルミ・チタン)等
・板取り展開事業などのロール、プレス機による曲げ加工

コウジャク
株式会社 上津役製作所
鋼板曲げ加工 事務所・工場 〒809-0000 中間市砂山一組
TEL: 093-245-2238 FAX: 093-244-0535
代表取締役 **小林 芙美子** 本社 北九州市八幡西区引野3丁目13-2
URL: <http://www.koujaku.com/>

天井走行リフトシステム パートナー

介護の負担を軽減するあなたの新しいパートナーです。ベッド、トイレ、浴槽への移動が簡単操作でできるリフト、段差解消機、階段昇降機…安全・安心・快適な生活をお手伝いします。

●ホームページもご覧ください
<http://www.lift-sanden.co.jp/index.html>
Mail lift-sanden@lift-sanden.co.jp

有限会社 三電 本社 北九州市戸畑区千防3-20-16
TEL 093-882-5289 FAX 093-873-1819
SANDEN CO.,Ltd. 広島営業所 広島市西区天満町9-14
TEL 082-296-8398 FAX 082-292-3491

お家の事で困っていませんか?

洗面・ユニットバス、トイレやリビングのリフォームなど、小規模から大規模まで無料で相談・見積を承っております。また、期間限定にてリフォームモニター大募集。モニター価格ですので、この機会に是非ご利用ください。

株式会社大野
代表取締役 **大野 仁**
〒807-0815 北九州市八幡西区本城東4-5-22
ネオビスビル3F
TEL: 093-603-1125 FAX: 093-601-6667
URL: <http://www.tss-ne.jp/>
e-mail: jin@ohno3.com

伝えたいを広げたい

PR Partner KOHO 株式会社

企画
デザイン
DTP
取材・編集
印刷
製本
WEB企画・制作
広報DVD制作

[本社] 〒807-0824 北九州市八幡西区光明1-7-15
Tel.093-602-4461 Fax.093-602-5027
orio@k-kikansi.co.jp
[福岡事務所] 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-5-8-409
Tel.092-434-1138 Fax.092-434-1195
fkikansi@eagle.ocn.ne.jp